

講義名	流通史			授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題・概要

難々しい「産業革命」や工業化の歴史に比べて、流通の歴史はどこか地味な印象があるのではないのでしょうか。しかし流通の歴史は実は「産業革命」に匹敵するぐらいの大きな進展があったのです。日本の流通の歴史は本格的には戦後の高度経済成長期に「流通革命」として大きく前進することになります。この講義では主に日本の戦後流通史に対象を絞り、毎回の授業では特定のテーマ（業態）を取り上げ学びます。本講義はあらゆるものに歴史が存在するという立場をとり、この講義を履修することで、「歴史的に考察する癖をもつ社会人」の育成をめざします。

到達目標

- 【第1段階】意欲・態度に関する目標
 目標1 歴史を学ぶことは将来有用であることに気づく。
 目標2 現代の流通システムは過去からの連続であることを認める。
- 【第2段階】知識に関する目標
 目標3 高校日本史探究の歴史的な用語、ビジネス基礎の概念を説明できる。
 目標4 各時代の流通史に関するキーワードを列挙することができる。
- 【第3段階】表現に関する目標
 目標5 流通史に関するキーワードをつかって、なぜその業態が登場したかの説明できるようになる。
 目標6 この授業終了時には少なくとも一つの事例を挙げながら日本における流通の歴史を説明することができる。

提出課題

- ミニッツペーパー
 ・毎回の授業後にその日の授業内容を簡単に振り返りと感想・質問・不明点を提出します。
 ・詳細は授業中に説明します。
- 模擬試験
 ・学期半ばで模擬試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
 ・成績評価には反映しませんが、学期末試験へつながる重要なファクターとなります。
 ・持ち込みは全てで可検討しています。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ミニッツペーパー
 ・提出したミニッツペーパーにおける感想、質問、不明点は翌週以降の授業スライドで回答します。
 ・模擬試験
 ・模擬試験を行った場合は、翌週以降に講評をおこないます。

評価の基準

- 【平常点】 20%
 ・授業への参加度（受講態度）およびミニッツペーパーでの質問や感想内容で評価します。
 ・私道や他の受講生の迷惑になるような行為は厳に慎んでください。
 ・授業中に私語がない場合、授業参加点として、全員に（1）を付与することがあります。
- 【模擬試験】 0%
 ・学期半ばで模擬試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
 ・成績評価には反映しませんが、学期末試験へつながる重要なファクターとなります。
 ・持ち込みは全てで可検討しています。
- 【定期試験】 80%
 ・学期末定期試験を行います。
 【ボーナスポイント】（最大15%）
 ・加点課題を認定することがあります。
 ・任意課題ですので、意欲のある人のみ提出することができます。
 ・ただし成績評価は平常点、定期試験、加点課題を中心に総合的に勘案して行います。
- ・成績評価の方法（加点課題等）は初回の授業で説明します。
 ・ミニッツペーパーの回収はスマホ、タブレット、パソコンを用います。スマホ、パソコンを持参してください。持っていないでも当日配布限定の紙のミニッツペーパーを配布します。
 ・定期試験だけで成績評価はしません。

履修にあたっての注意・助言他

- 【受講のルール】
 ・食事（飲みも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。
 ・受講中のイヤホンの着用は厳禁です（ただし聴覚等に障害がある場合は認めます）。
 ・他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時はこの限りではありません）。
 ・ミニッツペーパーで私語による言語があれば、受講から予告なしに退席判定を行うことがあります。
 ・常に授業中に私語がない場合、授業参加点として、全員に（1）を付与することがあります。
 ・他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やチャタキー音を鳴らさないようにしてください。
 ・スライドをスマホで静止画撮影するのは認めますが、その場合、マナーカスラ等のアプリを使用してください。
 ・動画撮影は認めません。
 ・障害のある生徒がいれば申し出てください。

教科書

・使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

・商店街はいま必要なのか。	洞商勇	講談社現代新書	640	9784062883252
・日本商業史。	廣田誠・山田雄久・木山実・長興利崇・藤岡里佳	有斐閣	2750	9784641165069

その他

- 【配布資料】
 ・配布資料は授業時に適宜配布するか、必要に応じてポータル等にアップします。
 【参考文献】
 ・授業時に指示しますが、全体を通しての参考文献として高校歴史やビジネス基礎の教科書・資料集類をあげておきます。
 日本史探究
 佐藤信ら編著（2023）『詳説日本史』山川出版社。ISBN 978-4-634-70121-2
 歴史総合
 久保史朗、中村尚史ら編著（2022）『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』山川出版社。ISBN978-4-634-70112-0
 ビジネス基礎
 小松繁雄他（2022）『ビジネス基礎』新訂版、東京法令出版。ISBN 978-4-8090-8054-8

授業計画

- 第1回：オリエンテーション
 第2回：日本における流通史の大まかな流れー業種から業態へ
 第3回：パバ・マラストア
 第4回：商店街
 第5回：商店街
 第6回：百貨店ー三越百貨店で振り返る高級系百貨店の誕生
 第7回：百貨店ー高島百貨店で振り返る電鉄系百貨店の誕生
 第8回：中間のまとめ
 第9回：スーパーマーケットの誕生ースーパーとはいかなる特徴をもっているのか
 第10回：総合スーパーの誕生ーダイエーで振り返る総合スーパーの誕生
 第11回：食品スーパーーなぜパバ・マラストアに優位性があったのか
 第12回：食品スーパーー関西スーパーで振り返る食品スーパーの確立
 第13回：コンビニエンスストアー近代的なパバ・マラストア
 第14回：コンビニエンスストアーセブンイレブンの誕生
 第15回：全体のまとめ
 学期末定期試験
 ・なお授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・調整される場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 【予習】2時間
 ・高校の日本史、ビジネス基礎の教科書等で該当時代を復習しておく。
 ・他の授業（例えば「流通科学入門」など）で学んだ概念を復習しておく。
- 【復習】2時間
 ・毎回のスライドで提示した到達目標を達成できるようになっておく。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「（2）知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「（3）創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材」に寄与することができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 【ICT活用】
 ミニッツペーパーの回収はスマホ、タブレット、パソコンを用います。スマホ、タブレット、パソコンを持参してください。

実務経験の有無及び活用

なし。

備考

特になし。